

漁海況情報第4報 (2016年7月7日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

仙台湾の表面水温は湾奥部で平年並、湾口部で1~2℃高め、金華山沖では表面、100m深とも高めとなっている。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、18~22℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾奥部の石巻湾で平年並、湾口部で1~2℃高めとなっています。金華山沖は2~4℃高めとなっています。

100m深水温は10~12℃台となっています。平年と比較すると、1~5℃高めとなっており、特に38°50' Nラインの142°30' E以東では5℃高めとなっています[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]。

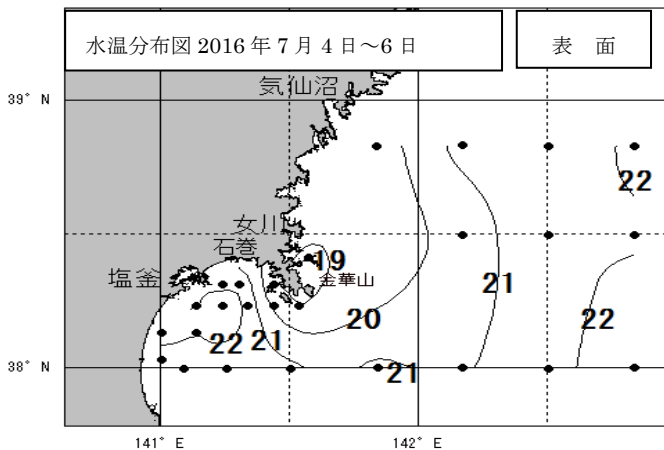
水温鉛直断面図をみると、表層付近の水温が上昇し等温線が混んできました(成層化)[P2.水温鉛直断面図]。

(一社)漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮は北海道厚岸沖まで後退し、20~23℃の北上暖水が青森県三沢沖まで達しています[P2.東北海域の海況図:(一社)漁業情報サービスセンター]。

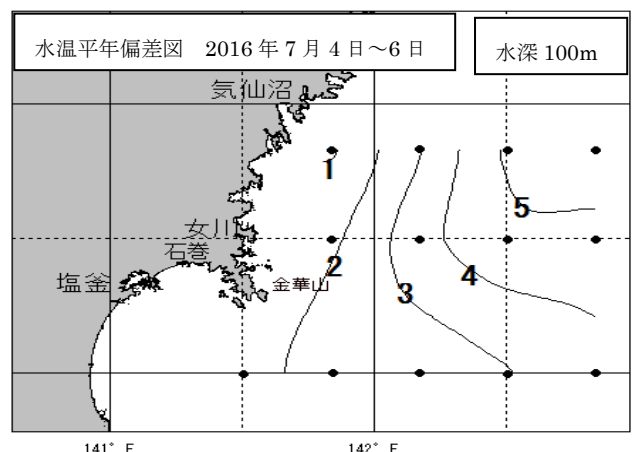
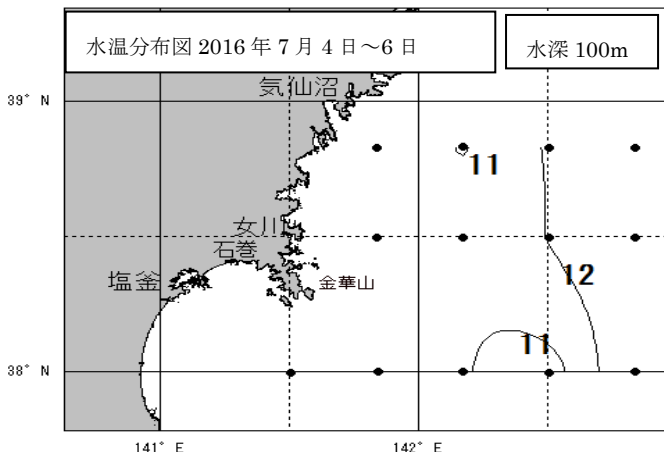
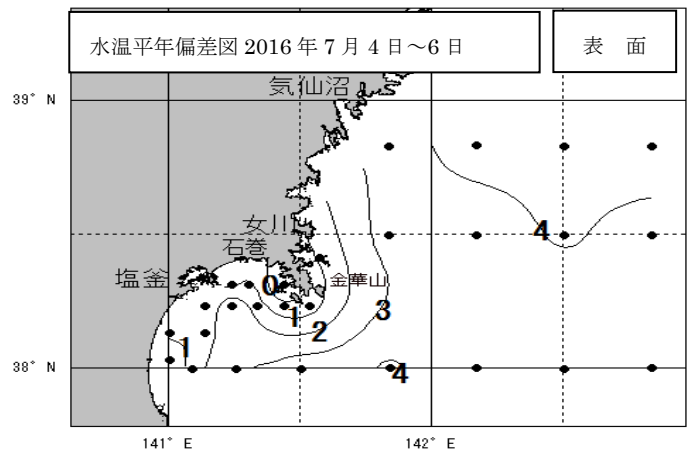
6月下旬の定地水温は17~21℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼で高め(平年差+1.6~+2.3℃)、江島は平年より極めて高め(平年差:+2.4℃以上)、佐須浜はやや高め(平年差+0.7~+1.5℃)となっています。桂島と互理は昨年より1℃程度低くなっています[P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、9~15℃台となっており、昨年よりやや高くなっています[P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

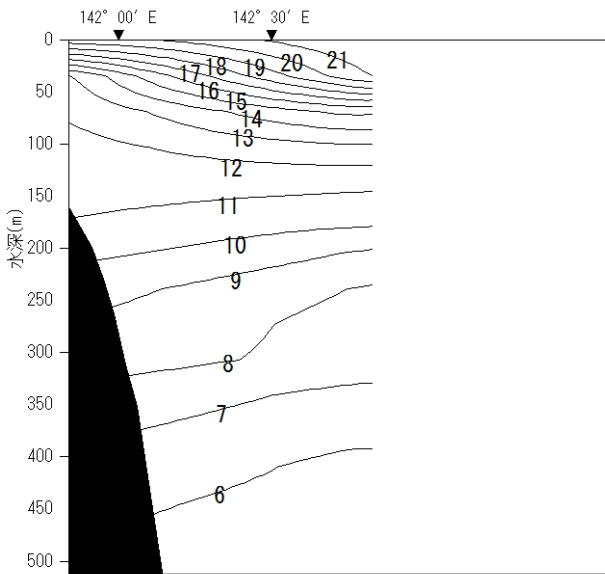


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

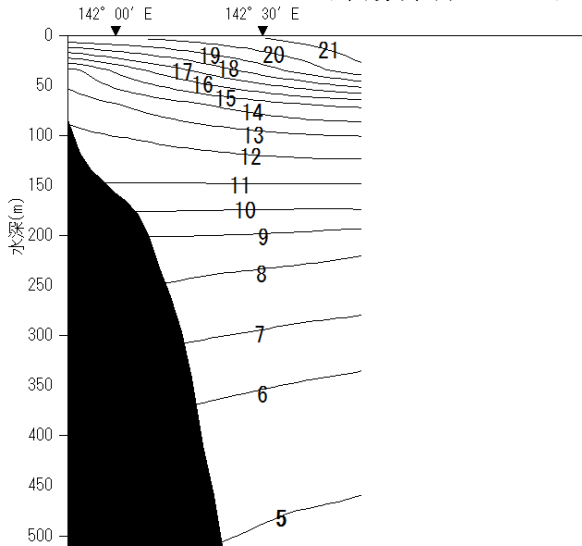


・水温鉛直断面図

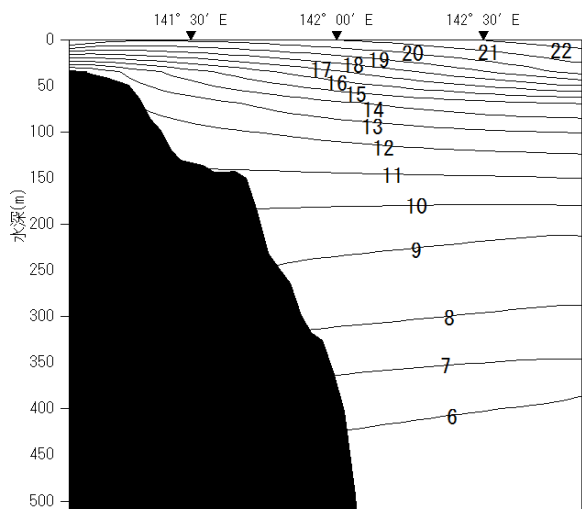
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

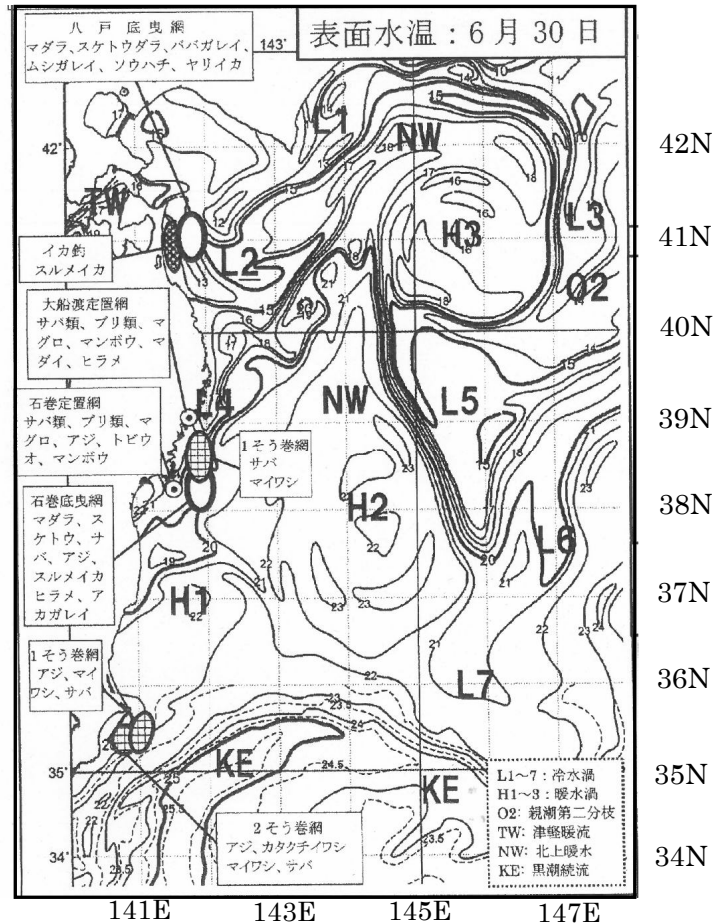


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2016年6月30日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

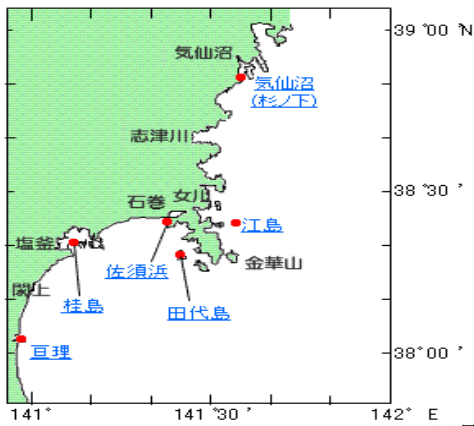
【海況】(6月30日表面水温)

- ・親潮第一分枝(O1:5~9℃台)は厚岸近海まで後退。
- ・親潮, 津軽暖流, 北上暖水の混合水(13~15℃台)が下北~釜石の沿岸を南下。
- ・黒潮(KE; 23~25℃台)は犬吠埼南東60海里を北東に進み房総沖を蛇行しながら東進。
- ・20~23℃台の北上暖水が三沢沖まで北上, 16~19℃台は42°30' N付近へ到達。
- ・房総~常磐に20~21℃台, 福島~仙台湾~牡鹿半島沖に19~20℃台, 女川~気仙沼沖に18℃台の暖水が接近。

【漁況】(6月28日~30日)

- ・まき網: 金華山沖にサバとマイワシ漁場が形成され, 延9カ続がマサバとマイワシ計497トンを漁獲。日立沖ではサバとウルメ, 犬吠埼ではマイワシ, アジなどを漁獲。
- ・定置網: 金華山と大船渡はサバとブリ主体。マグロ, メジが増加。
- ・カツオ竿釣: 房総沖147~149°Eが主漁場, ビンナガ主体に操業中。
- ・カツオ・マグロまき網: 142~145°Eでカツオ主体にマグロなどを漁獲。
- ・スルメイカ: 青森の釣りや底曳網が本格漁獲。

・定地海洋観測



観測点	6月下旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	17.9℃	高め	1.6℃	-0.4℃
江島	19.6℃	極めて高め	3.9℃	2.0℃
佐須浜	20.6℃	やや高め	1.2℃	-1.0℃
桂島	21.9℃	-	-	-1.2℃
巨理	21.2℃	-	-	-0.9℃

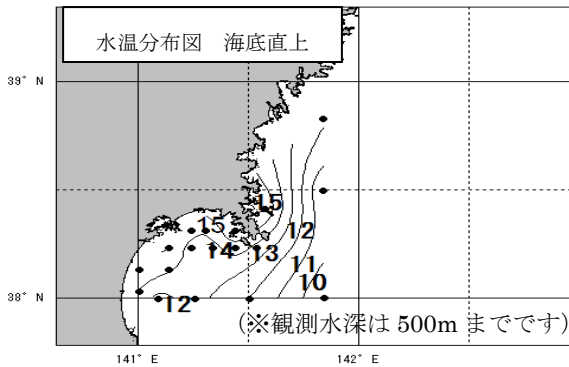
※田代島と佐須浜は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

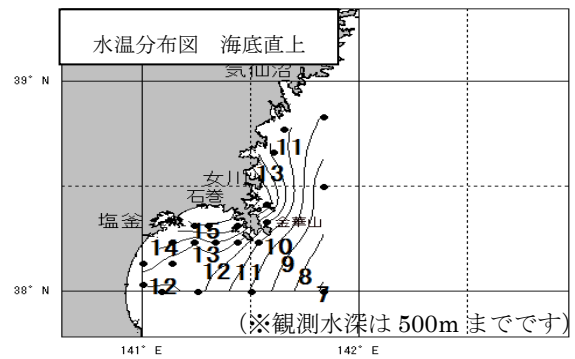
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html> でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年7月4日～6日)

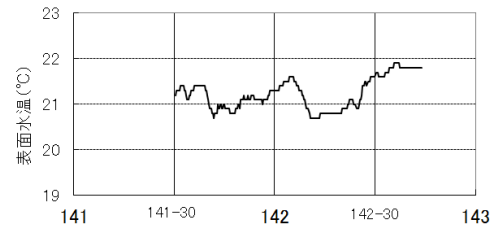
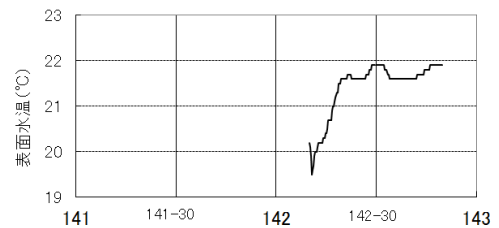
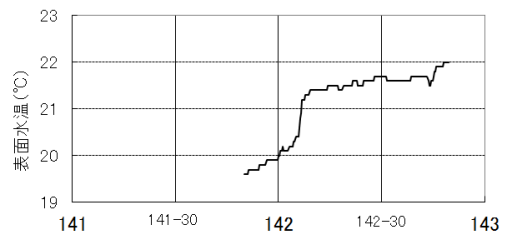
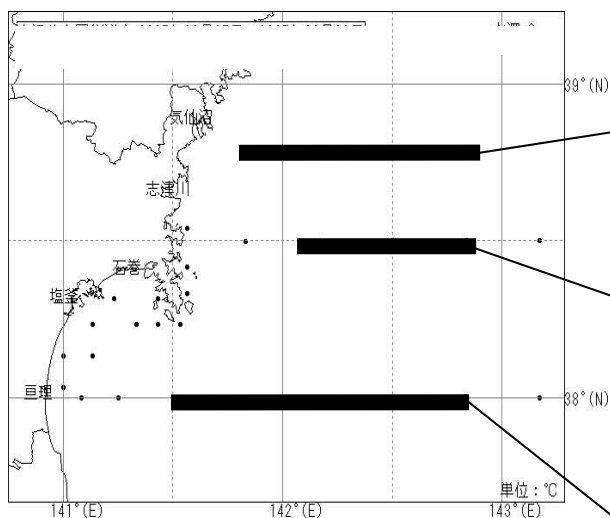


・海底直上水温(2015年7月1日～3日)



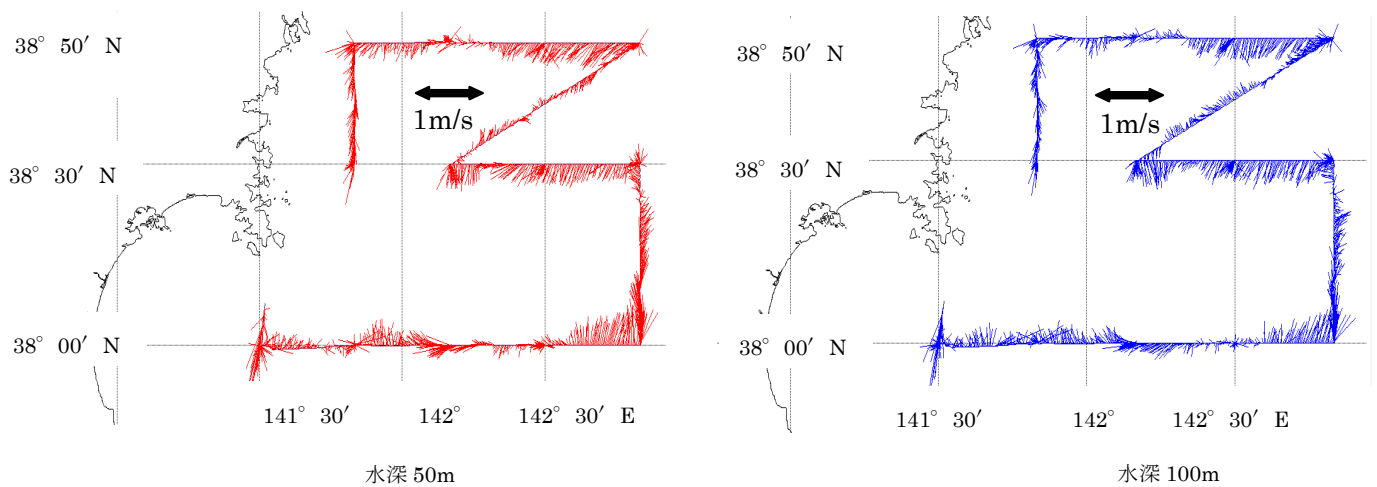
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 6 月の水揚量を見ると、昨年同月比でクロマグロ、メバチ、キハダ、ビンナガのマグロ類やヒラメ、スルメイカ、ガザミなどの水揚げが特に増加しています。一方、カツオ、マダラ、スケトウダラ、マコガレイ、マガレイなどの水揚げが減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年6月1日~6月30日)

単位:トン

魚種	沖底	小底	旋網	定置網	大目流し網	刺網全漁法	延縄	一本釣り	その他	総計	前年比(%)
カツオ			3,063		12			665	2	3,743	54
クロマグロ(メジ含む)			617	8	3		1	0	3	632	130
メバチ			69		0		26	77	4	176	123
キハダ			171		7		9	14	16	216	159
ビンナガ			2,656		14		207	6,853	0	9,731	258
マイワシ	1	0	938	25					12	976	110
カタクチイワシ				28					7	35	142
サバ類	786	1	148	2,059	0	3			86	3,082	83
ブリ		0	0	289	0				11	300	127
マダラ	282	1		1		1			113	399	26
スケトウダラ	63			0		0			5	68	28
イトヒキダラ	73								2	74	49
キチジ	10								2	12	156
カナガシラ	24	52		13					1	90	101
ヒラメ	23	75		21		76			62	257	163
マコガレイ	11	36		0		10			8	65	76
マガレイ		8				1			0	9	39
サメガレイ	28	0		0					1	29	117
ババガレイ	13	1		0		1			1	16	68
ミスダコ	34	14		1		2			133	184	130
スルメイカ	93	0		5					0	99	676
ガザミ		3		2		31			24	60	162

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。